



# 六中だより

令和5年度第8号（令和6年3月15日発行）

文京区立第六中学校 校長 佐藤勝也

<http://www.bunkyo-ky.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】 ○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

## 華咲け六中の絆 -3/6(水)学習発表会(合唱コンクール)-



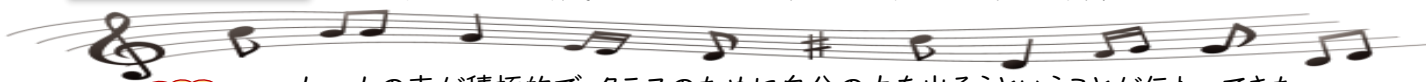
本行事やスローガンについて、実行委員長の3年女子が生徒朝礼で話をしたのが2/19(月)です。学年末考査を挟み本番まで3週間とない時間の中で、練習を積み上げていかななくてはなりません。もちろん、以前より音楽の授業を中心に準備は進んでいましたが、例年と異なる年度末の3月実施も

相まって、各学級の練習、実行委員会の運営等、様々な連絡・調整が必要となりました。その意味でも、先頭に立って行事を牽引した実行委員の生徒達には「お疲れ様でした」と声を掛け、感謝の言葉を伝えたいところです。

感染症対策による座席配置の配慮や入場者数の制限などは、今回の発表会では緩和され、ご来賓や地域の方々、保護者の皆様を数多くお迎えできることとなりました。当日は、午前の仁愛ホールに310名、午後の本校アリーナに69名と、多くの方々にお越しいただき、生徒の学習成果を直接ご覧いただけたことは、何より嬉しいことです。「感動して涙が出ました。」「生き生きと歌う表情が素晴らしい。」「合唱の力はすごい!」と、熱く感想を伝えてくださる方もいました。生徒達にとっても、合唱の後に会場一体となって湧き起こる拍手を舞台上で感じたことは、歌い切った達成感を倍増させる忘れられないものとなったことでしょう。工夫を凝らした合唱前の学級紹介や、9学級の合唱を通して、スローガン「響喜乱舞」に大いに近づけたのではないのでしょうか。今年度は、特別



審査委員として声楽がご専門の馬場千鶴子先生(元大塚小学校長・駕籠町小学校長、現教育センター専門指導員)に、当日の審査と総評をいただきました。閉会式でご指導いただいた内容の抜粋を、以下に掲載します。



### 1年生

一人一人の声が積極的で、クラスのために自分の力を出そうということが伝わってきた。  
・主旋律の受け渡し(ソプラノからバス、アルトに)がとてもよくつながっていた。全体の、女声と男声のバランスを聞き合って合唱をつくると、まとまったよいクラス合唱になる。

### 2年生

転調したりテンポが変わったりするドラマチックな課題曲の曲想、曲調がつかめていた。  
・ハキハキとした発声で、聞く人に歌詞をしっかりと伝えることができていた。  
・盛り上がる部分、フォルテだけでなく、メゾピアノやテンポがゆっくりの柔らかい表現がとても上手にできていた。発声練習の頭声発声が、とてもよく身に付いているからである。

### 3年生

人数が少なく、ボリュームが少なくても響きが美しいので、とてもまとまっていた。迫力も大事だが、人に訴えるような美しい響き、これができるのが3年生の力である。  
・女神のような女声の美しい声と、男声の低音の豊かな響きがまとまっていて、安心したクラス合唱であった。

### 全体

歌詞の内容が大人に向けての人生の岐路に立つ、今のタイミングに合う曲なので、言葉を噛みしめて歌っていた。  
・合唱コンクールで歌った曲は、一生忘れられないもの。思い悩んだり、行き詰まったりした時に、ぜひ今日歌った曲を、どの学年の生徒も、また心の中で歌って、心の支えにしてほしい。  
合唱は、自分の心を育てたり、人に感動を与えたり、心の支えになるもの。





午後の部は、吹奏楽部の演奏。曲想に合わせた映像やペンライトによる華やかな演出で盛り上がりました。



最優秀賞 1年B組 2年C組 3年C組 指揮者賞 1B生徒 2C生徒 3B生徒 【敬称略】

## 素敵な花が生徒や来校者を迎えています。

約一週間ごとに変わる花が、いつも心を和ませてくれています。昇降口の受付台と校長室に花を生けてくださっているのは、ボランティアの佐藤洋美さんです。お子様が中学に入学されてから現在まで、約27年間にわたり、六中に彩りを添えてくださっています。校内で花を通じて季節を感じることができます。お立ち寄りの際は、意識してご覧になってください。



## 生徒の活躍

【敬称略】

### 部活動

- バドミントン部 文京区1年生大会
  - 男子シングルス 第3位 女子シングルス 第3位
  - 女子ダブルス 第3位 (2ペア)
- Bブロック中学校バドミントン1年生研修大会
  - 女子ダブルス 第3位

### 個人・その他

- 第27回「俳句の里」山梨県笛吹市全国小学生・中学生俳句会
  - ・入選 3年 女子1名 男子2名
- 第63回東京都中学校書き初め紙上展
  - ・全日本書写書道教育研究会長賞 2年 女子1名
  - ・金賞 3年 女子2名 男子1名 2年 女子3名
  - 1年 女子1名 男子1名
- 第73回東京都公立学校美術展覧会(令和6年2月14日~18日 於;東京都美術館)
  - ・美術(プッシュステンド) 1年 女子3名 (平面作品) 2年 女子1名
  - (半立体作品;お面) 3年 男子1名 女子1名
  - ・技術(鑄造ストラップ) 3年 女子3名 男子3名
  - ・家庭(トートバッグ) 2年 女子2名 男子1名 (幼児のおもちゃ) 3年 女子2名
  - ・国語(書写) 2年 女子1名



## 学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。

以下に簡易版をお示しします。詳細につきましては、後日学校ホームページに掲載します。

【回答方法】各設問について、①～⑥のいずれかを選択

- ①とてもあてはまる ②まああてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない  
⑤わからない ⑥無回答

「肯定的評価」①+②の数値は、⑤⑥を除いた有効回答の割合を、そのまま百分率で示しています。

### 1 【区共通項目】

	質問内容	肯定的評価	
		生徒	保護者
区 共 通 項 目	1 学校生活・教育活動に満足している	95.4%	89.2%
	2 学校が楽しいと感じている	88.4%	84.4%
	3 生徒の人権に配慮した教育が行われている	94.7%	83.2%
	4 特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる	91.9%	80.4%
	5 学校の授業は、分かりやすい	93.0%	77.2%
	6 教職員は、学校生活で起きた問題に素早く適切に対応している	93.7%	57.2%
	7 教職員は、生徒の安全管理や事故防止に努めている	96.8%	87.6%
	8 学校による情報発信が積極的である	—	83.6%
	9 保護者、生徒の意見や要望を受け止め、協力して教育を進めている	—	78.0%
	10 教職員のあいさつや対応は、ていねいで適切である	—	96.4%

### 2 【学校独自項目】

	質問内容	肯定的評価	
		生徒	保護者
学 校 独 自 項 目	1 教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる	94.9%	91.1%
	2 教職員は、生徒の悩みや相談に親身になって対応している	94.8%	90.3%
	3 学習や行事のねらいや目標、計画は、分かりやすく示されている	95.5%	91.3%
	4 教育の年間計画は、生徒の実態やニーズに合っている	90.1%	88.7%
	5 電子黒板やタブレット端末を使用した授業は、学習効果を上げている	90.0%	82.3%
	6 授業では、生徒の主体的な学びを重視している	92.5%	86.6%
	7 授業では、言語活動や話し合い活動に積極的に取り組んでいる	93.4%	88.2%
	8 数学の全授業で実施している少人数指導は、効果を上げている	88.6%	85.9%
	9 英語の全授業で実施している少人数指導は、効果を上げている	90.1%	88.5%
	10 「特別の教科 道徳」の授業は、生徒の力を伸ばし効果を上げている	87.1%	84.0%
	11 総合的な学習の時間をはじめとした体験学習は、生徒の力を伸ばし効果を上げている	94.3%	86.4%
	12 生徒会や委員会の活動は、生徒の力を伸ばし効果を上げている	88.6%	85.5%
	13 部活動は、生徒の力を伸ばし効果を上げている	90.8%	84.6%
	14 保健に関する計画・取組は、充実している	91.8%	78.2%
	15 給食は、充実している	92.7%	88.6%
	16 学校図書館は、充実している	86.6%	80.4%
	17 教室や特別教室等の設備、授業で使用する教材や教具等は、きちんと整備されている	94.6%	88.5%
	18 自主学習のための「六中応援塾」は、効果を上げている	82.1%	73.4%
	19 進路指導（職業調べ、職場訪問、職場体験、上級学校調べ等）は、生徒一人一人の適性や希望を生かして行われている	91.6%	81.5%
	20 生活指導は、生徒の健全な学校生活に役立ち、充実している	91.4%	84.9%
	21 生徒は、中学生にふさわしい規範意識を身に付けている	90.8%	92.4%
	22 学校生活において、「いじめを許さない」雰囲気が感じられる	89.1%	84.6%
	23 毎月の避難訓練をはじめとした安全指導は、効果を上げている	88.9%	88.4%
	24 運動会[5月20日(土)実施]は、生徒の力を伸ばし充実していた	92.9%	89.6%
	25 全校ソーラン[運動会にて実施]の取組は、生徒の力を伸ばし充実していた	82.5%	89.1%
	26 「プレゼンテーション能力向上プログラム」は、生徒の力を伸ばす適切な内容であった	89.6%	82.1%
	27 学校は新型コロナウイルス感染症対策等、感染症対策を適切に行っていますか	93.9%	—

		肯定的評価		
		生徒	保護者	
学校独自項目	28	学校からのお知らせである「六中だより」は、読みやすく楽しい内容であった	88.7%	90.4%
	29	学年ごとに発行している「学年だより」は、読みやすく楽しい内容であった	91.4%	88.3%
	30	子どもを六中に入學させて良かった	—	92.3%
	31	家庭で取り組んでいる1日の平均学習時間(塾等を含む) ①120分以上…34.1% ②90分以上120分未満…23.8% ③60分以上90分未満…16.2% ④30分以上60分未満…16.2% ⑤30分未満…10.0		—

### 3【特定の視点で特徴などについて言及します。】

#### (1) 区共通項目5 「学校の授業は、分かりやすい。」

##### ○肯定的な回答は7割前半から9割後半と幅が広い

学年別に見ると、生徒は88.4～97.1%、保護者は73.7～78.8%と幅があります。7割台の保護者回答については前年度からの課題であり、土曜授業公開時のアンケートを電子化し、ご意見等を蓄積・分析しています。さらに、学期毎の「生徒による授業アンケート」を全教科で必ず実施することとして、設問への回答と自由記述により授業者の振り返りに生かします。引き続き授業改善に努めてまいります。

#### (2) 区共通項目6 「教職員は、学校生活で起きた問題に素早く適切に対応している。」

##### ○肯定的な回答について、生徒は93.7%、保護者は57.2%（「分からない」が38.0%）

「分からない」の割合は、**近3年で毎年4割弱となっています。**否定的な回答（生徒6.3%、保護者4.8%）に目を向け、問題発生時の状況把握や解決に向けた迅速な対応を心掛け取り組んでまいります。

#### (3) 区共通項目9 「保護者、生徒の意見や要望を受け止め、協力して教育を進めている。」

##### ○前年度同様、約2割は否定的な評価

保護者や生徒とのやり取りにおいて、より一層傾聴の姿勢を心掛け、保護者、生徒、学校間で合意形成を図り、集団と個それぞれを大切にされた教育が進められるよう、丁寧に対応してまいります。

#### (4) 学校独自項目10 「『特別の教科 道徳』の授業は、生徒の力を伸ばし、効果を上げている。」

##### ○前年度は、「分からない」の数値が高いもののひとつ（保護者26.7%）として言及

今年度は**土曜授業公開で授業をご覧いただいたり、学年別に講師を招聘した『いのちと心の授業』を公開し、その後の意見交換会に保護者に参加していただいたりしました。**道徳授業の実際が伝わり、肯定的な評価をいただく一因となったと思われまます。

#### (5) 学校独自項目19 「進路指導（職業調べ、職場訪問、職場体験、上級学校調べ等）は、生徒一人一人の適性や希望を生かして行われている。」

##### ○肯定的な回答について、生徒は91.6%、保護者は81.5%である。

前年度比、生徒15.7pt、保護者20.4ptと大幅に上がりました。設問の「進路指導」に（ ）を付け、具体的な取組を記載したことにより、「分からない」への回答が減少しました。また、**GW以降、体験学習が可能となり、地域学校協働本部との連携により4年振りの職場体験が実現したことも要因ととらえています。**

#### (6) 学校独自項目22 「学校生活において、『いじめを許さない』雰囲気が感じられる」

##### ○否定的な回答について、生徒は8.0%、保護者は7.6%

生徒主体のキャンペーンや、「ふれあい月間」に合わせた校長講話、学年フロアごとの掲示物による啓発等、取組が行われてはいても、生徒間のトラブルは発生し、当事者や周囲の生徒を含めた『いじめを許さない』雰囲気を一層浸透させていかなければならない数値ととらえます。

**学校での交友関係がSNS上でのやりとりにもつながり、別の生徒を揶揄したり、他者の名前で発信するなりすましを行ったり、不用意なコメントで相手を不快にさせたり等、以前実際に起こっている事例もあります。**学校では、道徳授業をはじめ、教育活動全般において、自他を大切にする気持ちを高めることや規範意識の醸成等を進めてまいります。

#### (7) 学校独自項目2 「教職員は、生徒の悩みや相談に親身になって対応している。」

##### ○肯定的な回答は、生徒・保護者ともに9割を超えている。

7月や12に実施している個人面談や、各学期に全学年が実施している「おしゃべりタイム」（学年教員との個人面談）などにより、生徒が直接的に話しやすい状況が設定されていることが要因の一つと考えられます。生徒の学年別回答で、94.1～96.3%と高い評価をいただきました。